

RI 第 2760 地区 2014-15 年度地区研修・協議会  
第 3 分科会講評

西三河中分区ガバナー補佐 桐渕利次  
2014 年 4 月 13 日（日）

西三河中分区ガバナー補佐の桐渕でございます。  
ご指名により、第 3 分科会の講評をさせていただきます。

事前にアンケート調査が行われ、クラブ委員長の皆様には次年度への取り組みを真摯にご回答いただきました。貴重な資料を提供頂いたホストクラブ尾張旭 RC の皆様には、心より厚く御礼申し上げます。

本日は次年度地区広報カウンセラー片山 PDG、早川・籠橋・尾本地区委員長、及び地区副委員長の皆様から、次年度についての詳細なお話をいただきました。2-3 の確認させていただき、講評を述べさせていただきます。

職業奉仕は、「ロータリーの目的」（旧綱領）の第 2 項に基づくものです。ここに記載される「職業上の高い倫理基準、価値ある職業への理解、高潔な職業理念による社会貢献」という 3 つの観点から、事業計画を見直すことも可能ではないかと思えます。

職業奉仕とは、ロータリアンがあらゆる職業に携わる中で、他者を思い遣り、他者の為に尽くすことがロータリアンの究極の利益と信頼に繋がることを示し、ロータリーはこれを育成・支援するものと言われてきました。

シェルドンの奉仕理念をよく理解し、その受益者がロータリアン自身であることをもう一度ご確認下さい。職業奉仕は天職であるとか倫理運動であるなどの様々な解釈が行われていますが、水が低きに流れるが如く、事業経営の科学ととらえたシェルドンに、今尚ロータリーの魅力と可能性を感じます。

広報部門は、ロータリー公共イメージと認知度の向上のために、次年度は極めて重要な役割が要請されています。

次年度徹底して頂きたい重点項目として、「ロータリーデー」の広報、「ロータリークラブ・セントラル」や「My Rotary」への登録の推進、「立法案の提出」が挙げられています。会員の理解と協力を得るためには、その情報を発信する広報及び IT 委員会の手腕が必須となります。委員長の皆様のご活躍を期待致します。

最後に広報の基本を確認致します。ロータリーの広報は個々のロータリアンの責務であると明言されております。クラブ会員がロータリーに精通し、その意図と功績を社会に伝えるように、会員へ情報を発信する役割があります。

「四つのテスト」に基づいて、広報には事実を公平・平等に伝える使命があり、過大な評価や脚色された記事を掲載することは断じて戒めなければなりません。

また、雑誌・記録部門として、過去の年度の記録を保存する責務もあります。広報するものの良識に従い、ロータリアンの誇りに恥じない活動を期待します。

ロータリーには職業奉仕のように生涯をかけて求めていくものもありますが、我々には 100 余年の歴史と共に、築き上げた判断の基準となるものがあります。納得のいかないときには、「手続要覧、ロータリアンの手引き」をご覧ください。

ロータリーは単年制であり、次年度クラブ委員会を楽しいものにするか否かは、委員長の皆様の手の中にあります。委員会の総力を結集して取り組むように、リーダーシップを発揮することは、ロータリーで自身を磨くことでもあります。地区委員会は皆様のサポートに全力で励みますので、何なりとご連絡下さい。

本日の地区研修・協議会及びこの分科会を次年度委員会方針および事業計画にお役立ていただき、「ロータリーに輝きを」もたらしていただきたく存じます。以上、簡単ではございますが、第 3 分科会の講評とさせていただきます。本日は有り難うございました。